

「NEAL 自然体験活動指導者（リーダー）養成研修」報告

平成 30 年 11 月 23 日（金・祝）～ 11 月 25 日（日） 2泊3日

【目的・趣旨／概要】

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、自然体験指導者（NEAL）リーダーを養成することにより、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じて適切かつ安全に指導 ができる自然体験活動指導者を育成する。

【講師・連携先】

- ・ 講師
 - ・ 岡崎 勘造 氏（東北学院大学教養学部人間科学科）
 - ・ 進士 徹 氏（NPO 法人あぶくまエヌエスネット 理事長）
 - ・ 中嶋 信 氏（NPO 法人野外遊び喜び総合研究所 あばれんぼキャンプ代表理事）

【募集対象／実績】

《募集対象》自然体験活動や青少年教育に興味関心のある方（高校卒業以上） 25名
《実 績》9名

【プログラム概要】

「自然体験活動の特質」

中嶋信氏には、自然体験や環境保全活動等の系譜から事業の企画における組み立て方など、豊富な経験の中から実践的かつ実務的な内容を御講義いただきました。エビデンスに基づく事業の組み立て方についてワークを行いました。

参加者からは、「分かりやすくお話いただき、どのお話もとても興味深い講義だった。」「指導者になるために刺激を受け、体験活動の意義についてもっと知りたくなった。」などの声が寄せられ、充実した研修であったことがうかがえました。

「対象者理解」「自然体験活動の指導」

進士徹氏には、青少年の各発達段階における特徴や課題などを通じて、子供たちと関わる上で重要な心構えなどを御講義いただきました。対象者を理解することの大切さや体験活動を通しての目標達成や自己実現など、アイスブレイクやグループワークも含めて御教示いただきました。

参加者からは、「大変有意義な時間を過ごすことができた。」「ほかの参加者との交流も楽しめながら学べた。」などの声が寄せられました。

「自然体験活動が果たす役割の可能性」

岡崎勘造氏には、体験活動の役割とその可能性について御講義いただきました。データに基づいた子供達の課題について御教示いただき、豊富な経験の中から実践的かつ実務的な内容を御講義いただきました。参加者からは、「データから読み解くことの大切さを学び、現代の子供達の現状をよく知ることができた。」などの感想が出ていました。



(ロープワーク実習)



(環境に配慮した野外炊事実習)



(ワークショップやプレゼンテーション)



【成果】

- ・参加者の満足度が高い講義が多かった。
- ・若手研究者や若手実践家（活動家）が発表・講義する場としても、とても良い機会である。
- ・機構のプロパー職員を講師として実習（ロープワーク・野外炊事等）を行うことで、若手職員の育成やスキルアップの好機にもなっている。
- ・長年の付き合いがある講師を招聘したので、打ち合わせも細かくでき、細部のニュアンスや意図までを的確に伝えることができ、ねらいどおりの内容で御講義いただいた。また、各講師の講義直前に、講義の前後の流れや他の講師の話、全体の動き、参加者の様子をお伝えできたので、キーワードが統一され、全体的にまとまった講習会となった。

【課題と方策】

- ・秋季のイベントや事業が多い時期に、野外活動指導者を集客することが困難であったため、時期も含めて開催時期を検討し、より多くの参加者を確保できるようにする。
- ・学生ボランティア（法人ボランティア）の参加が無かったため、通年での指導者育成ビジョンを整理し、スキルアップ事業として位置づけするなど参加しやすい工夫や仕掛けが必要である。学生ボランティアの資質向上や技術の習得、自主企画の一助となるように、NEAL 養成事業を活用した事業を計画する。

国立那須甲子青少年自然の家【作成】事業推進係：阿部 広之